

【福岡市】衛生監視における施設立入調査の効率化(巡回ルートの効率化)

課題の背景

飲食店や理・美容所等の施設における各種法令に基づく衛生基準遵守状況を確認するため、定期的に立入検査等を実施している（参考：福岡市早良区における平成29年度監視実績は延べ1,900件/年）。現状当該施設等への立入ルートは、職員が立入日毎にグーグルなどの地図上で効率的なルート設定と立入所要時間の計算を手作業で行い、計画を立てているため、業務負担が大きい。また、3～4年に一度立ち入りする施設が多いため、人事異動の都度、経験の浅い職員が計画の策定又は見直しを行うことも多く、作業効率の改善が必要となっている。

求められる要件(機能要求・関連基準等)

以下に示す事項のいずれか又は全てを可能とするようなアイデア・技術等を求める。

- ・ 監視施設対象から、飲食店や理・美容所別に1日あるいは1週間など任意の期間で効率的に訪問する対象を抽出し、かつ抽出した施設間を効率的に移動する巡回ルート及びタイムスケジュールを自動的に作成することで、計画策定に係る時間を削減できるシステムであること。
(現状、20件程度の立入り施設に対するルート及びタイムスケジュール作成に1時間30分程度を要している)
- ・ ルート作成に当たって、徒歩、自転車、公用車、公共交通機関といった複数の移動手段の効率性（移動に要する時間、費用等）に鑑み、最適巡回ルートが導き出されるシステムであること。
- ・ タブレット等の移動端末にて外出時でも使用可能であるシステムであること。
- ・ 同システム内で立入り施設の監視結果及び指導状況の記録等が可能であること。